

# 東海大学理学部数学・情報数理談話会

以下の要領において談話会を開催致します。多数の方の御来聴をお待ち致しております。

日程 2016年2月15日(月) 16:00 ～ 17:00

場所 東海大学湘南校舎 18号館 8階理学部ゼミ室 3 (18-831)

講演者 酒井 文雄氏 (埼玉大学名誉教授)

タイトル White の定理, Chowla の定理, 巡回商特異点,  
射影直線の巡回被覆

**アブストラクト:** 1960年代に、次のような異なる分野の4つの定理が登場した。1) (Lewittes の定理) : 代数曲線に作用する自己同型の固定点がワイエルシュトラス点でなければ固定点の個数は高々4点である。2) (White の定理 1964) : 内部に格子点を含まない格子点4面体の形状に関する結果, 3) (Hirzebruch-Janig の定理 1969) : 2次元商特異点の連分数による特異点解消の記述, 4) (Chowla の定理 1970) : 余正接関数の特殊値の有理数体上の1次独立性に関する結果。

これらの定理には内在する組み合わせ論的数論があり、1980年代に再び議論された。例えば、Terminal Lemma (Reid 1987) である。最近、射影直線の巡回被覆曲線の分岐点のワイエルシュトラス重みについてこの組み合わせ論的数論の関与する結果を得たので報告したい(王楠, 川崎真澄両氏との共同研究)。

世話人: 那須弘和 (情報数理学科)

笹木集夢 (数学科)